神奈川東ロータリークラブ
KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 ＲＩ会長 **ゲイリー C.K. ホァン**

第2590地区　ガバナー
大野　清一

- 会　　長　山田正憲
- 会長エレクト　江森国一
- 副会長　天野公史
- 副会長　鴻　義久
- 幹　　事　植田清司
- 副幹事　朝日達夫
- 会　　計　渡邉　淳
- 副会計　白井康夫
- ＳＡＡ　小山市康
- 副ＳＡＡ　長井　章
- 副ＳＡＡ　青柳　紀
- クラブ会報　竹山　洋

写真提供　小池將夫会員

事務局　ホテルキャメロットジャパン内　〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL：045-314-3900　FAX：045-314-3555
例会日　毎週金曜日０：30 ～１：30 PM（第５金曜日６：00 PM）
例会場　ホテルキャメロットジャパン
創立記念日　昭和 51 年５月 29 日
ＵＲＬ　http://www.kanagawahigashi.com/
E-mail　kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度　**第４週報**　**No. 1845**　2014年（平成26年）７月25日　第1845回例会記録　８月１日発行

司　　会　朝日　達夫　副幹事

点　　鐘　山田　正憲　会長

斉　　唱　「手に手つないで」

四つのテスト　角田　伯雄　職業奉仕委員長
（第1例会のみ）

ビジター紹介
神奈川Ｒ.Ｃ　金野　克佐　様
横浜日吉Ｒ.Ｃ　峯尾　重弘　様
横浜西Ｒ.Ｃ　森部　　等　様

誕生日祝　青柳　　紀　会員（７月29日）

本日〈８月１日〉のプログラム

◆斉　唱　「君が代」「奉仕の理想」
◆献　立　鰻とろろ御膳
◆卓　話　「我が野球人生～球道即人道～」
元 横浜ベイスターズ投手・現 野球解説者　野村　弘樹　様
（紹介者　佐藤　勝彦　会員）

<< 本日のＢＧＭ
「ハロー・ドーリー！、夏の日の恋、黒いオルフェ　外」>>

出席報告　西山　潔　出席委員長

会員総数	56名	(34＋22)名	
出席会員数	42名	(26＋16)名	
出席率	84.00%		
ゲスト	0名	ビジター	3名
前回補正後	91.67%	前々回補正後	90.00%

スマイルボックス　小山　市康　ＳＡＡ

神奈川R.C　金野克佐様　本日もお世話になります。

横浜日吉R.C　峯尾重弘様　お世話になります。

横浜西R.C　森部　等様　月山様、何時も大変お世話になります。

青柳　紀君　①我妻先生の出席はニュースだね！②誕生祝い、ありがとうございます。嬉しくもあり、悲しくもあり！

山田正憲君　昔のゴジラを見て、今はなき白鳥座、紅座、ロマン座で怪獣映画を見たのを思い出しました。

山本　登君　熱中症！！室内でも多発中です。

伊東英紀君　暑い日が続きます。皆様、体に気を付けて下さい。

長井　章君　言いたくないけど暑い！

小山市康君　梅雨が明け、夏本番。暑いですね。冬が恋しい！！

7月25日	9件	18,000円
本年度累計		224,580円

卓　話

「新年度挨拶」

◆広報・ＩＴ委員会　委員長　白鳥　厚夫

精　　神　ＲＩテーマに基づいて
「ロータリーに輝きを」の精神に基づき、幅広い人に親しみのわくアピールをします。

目　　的　ビジター・ゲストが神奈川東Ｒ.Ｃに親しみがわき、例会に出席し易く・分かり易くします！！

具体策１　現在までの現状分析を行います。色々皆様に質問しますのでご協力下さい。

具体策２　上記の目的を達成する為、スマホ版ＨＰを作成する。

具体策３　マスメディアに投稿する価値のある記事があれば、積極的にマスメディアへ投稿します。写真等個人情報を掲載して欲しくない方、予め申し出て下さい。

具体策４　ＳＮＳ（FacebookやTwitterなどソーシャルメディア）と連携し、イベントや告知などの情報を広く素早く拡散させる為に活用することが可能か検討します。

具体策５　メールによる問合せ等に可能な限り俊敏に対応する体制を考慮します。

具体策６　現在、ＨＰを依頼している業者との契約の見直しをします。今の契約は、ソフトメーカーに有利と思われるので費用対効果を考えます。

委 員 会　担当委員の時間有効活用の為、メール連絡等を多用します。

◆Ｒ情報・研修委員会　委員長　飯田　泰之

委員会メンバーには、副委員長に直前幹事の山本芳弘会員、委員には渡辺淳会員、同じく委員には藤橋恒一郎会員の計４名のベテラン会員で構成されています。

本年度（2014～2015年度）はクラブテーマが設定されていませんが「笑顔で奉仕　奉仕で笑顔」のスローガンがあります。山田正憲会長方針により、当委員会は入会間もないメンバーへのロータリーの基本の伝達と、ロータリーの最新情報の発信、及びロータリーの種々の事案に対する研修会の開催について、微力ながら努めて参りたいと考えます。

今年度より、地区方針としてクラブ研修委員会制度が発足しました。地区としても会員のロータリアンとしての意識の向上は重要な課題であると考えております。他クラブでは、単独の委員会として独立させているところもあるようですが、当クラブでは、ロータリー情報委員会が研修委員会を兼務することになりました。

一年間、皆様方の更なるご協力、ご支援をお願い申し上げます。

◆Ｒ財団委員会　委員長　赤堀　和人

本年度Ｒ財団委員長を任されました赤堀和人です。Ｒ財団委員会は初めての経験で、各委員会の中でももっとも難しく中身の濃い委員会だと思います。

地区の集まりに参加しても、Ｒ財団委員会の中にＲ財団補助金委員会があり、またその中に奨学金、学友、ＶＴＴ委員会、地区補助金委員会、グローバル補助金委員会、Ｒ平和センター委員会、また別にＲ財団資金管理委員会、ポリオプラス委員会、資金推進委員会と振り分けをしているほど、重要な委員会だと認識しています。

山田会長の指標でも言われているように、Ｒ財団の活動や補助金について、会員への周知徹底を第一に活動し、次年度に控えている40周年記念事業にＲ財団の補助金が使えるように目標をおいていきます。

本年度も年次寄付、ポリオへの寄付、ベネファクター等の寄付をお願い致します。

◆米山奨学委員会　委員長　茂木　知子

今年度、米山奨学委員長を仰せつかりました茂木です。地区委員会やカウンセラーの集まりに行って、これは大変なことを引き受けてしまった、仕事をこなしていけるのだろうかと少々不安な気持ちはございますが、一年間よろしくお願い致します。

また、奨学生と初めて対面した時、カウンセラーのロータリアンや奨学生の抱負を聞いた時、新鮮な感動を覚えたのも事実です。

私の担当した中国からの留学生　林さんは小学生の時、吃音だったそうです。それを乗り越えるため努力し、障害のある人々の教育を志したそうです。さらに、数回、林さんと話をして吃音はどうしておこるの？と聞いた時彼女はこう答えました。

彼女のおかあさんは19才で彼女を出産したそうです。若い母親は、彼女に事あるごと暴力をふるったそうです。それが怖くて吃音になってしまったと言っていました。母親の役目は大切ですと彼女は言いました。

私は自分の障害を受け止め、冷静に分析する若い彼女を素晴らしいと思いました。

留学生の誰もが将来の目標を語ります。現在の日本の若者もこのように、人生の目標を語ってほしいと思いました。日本の若い人たちに、面白いことや、人まねをして自分を目立たせるのではなく、平凡でもいいから、人生の目標を語ってほしいと思っています。奨学生の若い熱気に触れると、もしかしたら、こういうところから日本も変わっていくのではないかと思われます。

◆クラブ戦略計画委員会　委員長　河野　明光

当委員会は昨年、立ち上がったばかりの新設委員会であります。前年度はクラブ奉仕委員会の小委員会として活動を開始したのですが、正直、戦略計画がどのような活動を期待されたプログラムであるのか予備知識のないままにスタート致しました。

前年度の活動といえば５回にわたる委員会を開催しながらも、クラブ会員へ向けた情報提供は一度も行えず、結果、クラブ奉仕委員

会の小委員会としての立場に甘んじてしまいました。ただその中で、会長、会長エレクト、会長ノミニーの三世代にわたるクラブリーダーが委員として席に着き、クラブの将来の有り方に真摯な意見交換をする場は、当クラブ史になかったことであり、戦略計画活動で生まれた大きな副産物と思っています。

さて、新年度挨拶の機会をお借りして、「なぜ、今、クラブ戦略計画が必要なのか」についてざっくりとしたお話しをさせて下さい。

ＲＩはロータリー100年を過ぎた時点であらためてクラブ活動が原点であると認識し、クラブの活性化と柔軟性を推進しようとしています。それは、今日のアジアにみられる急速な経済発展や地球規模の社会環境変化等を鑑みて、「ロータリーは、こうあるべき！」と言った一つのサイズでは、もうみんなに合わなくなって来ているからです。国はもとより、地域別でもクラブ間であっても格差は歴然と生じています。では、将来にわたり活力に満ちた魅力あるクラブを創造するには、どのような活動が望ましいと言っているのでしょうか・・・。

１．クラブの得意分野に力を集中させ

２．変化するビジネスや社会的傾向に適応することが重要であると言われています。

ＲＩの「戦略計画」は経営学者Ｐ・ドラッカーの考えを引用し、ロータリー・プログラムに活用しているのだと思います。実は「戦略計画」をロータリーの解説書から理解しようとしますと大変に難解なのですが、Ｐ・ドラッカーの著書から抜粋し、ロータリー用語に置き換えますと案外容易に理解できることに気づきます。

著書の根本テーマは「人間が幸福になるにはどうすればよいか」の一点にあり、これをロータリー用語に当てはめるならロータリーの「中核的価値観」に集約されるのかも知れません。（多少無理のあることは承知です。）

（幸福を実現させるには）まず自分の強みを知り、今後どのように生きて行くか見定めることが重要である。これをロータリーではクラブの得意分野に力を集中させることが重要であると説き。さらに、自分の成長の余地のない分野からは潔く撤退することが重要である。Ｒ/解説では、活動成果のない継続だけの委員会は廃止し、その余力を得意な奉仕活動に特化することが最も望ましいと説いています。

単年度で活動成果を示せる委員会ではないが、これからも、活力に満ちた魅力あるクラブ構築の一役を担う委員会となれるよう委員一同真摯に務めてまいります。

皆さんのご理解とご協力を宜しくお願い致します。

◆40周年記念事業準備委員会　実行委員長　吉田　隆男

40周年記念事業準備実行委員会委員長を拝命しました吉田隆男です。副委員長は加藤会員、実行委員は河野会員、朝日会員、天野会員、江森会員、西山会員、友添会員、山田正憲会員、植田会員、白鳥会員、金森会員、赤堀会員、伊東会員、山本芳弘会員、小山会員、角田会員、渡邉会員、長井会員、田中会員、田口会員です。

私共のクラブは昭和51年５月に創立されましたが、2016年度に創立40周年という大きな節目を迎えます。そのための祝賀行事などをどの様に行うかを、会員一同で検討する必要があります。

そのために全会員が所属する小委員会を設立し、そのたたき台となる素案を実行委員を中心として考えていきます。

既に第１回40周年記念事業準備実行委員会を６月24日に開催致しました。これからも実行委員会を定期的に開催し検討してまいります。そして会員皆様のご理解を得た後、全会員一丸となって、神奈川東ロータリークラブとして相応しい立派な記念式典などを行いたいと思いますので、皆様の御指導と御協力の程よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆

【例会変更のお知らせ】

＊横浜都筑ロータリークラブ
平成26年８月13日（水）　休会
８月20日（水）　夜間移動例会

＊横浜日吉ロータリークラブ
平成26年８月13日（水）　休会

＊横浜北ロータリークラブ
平成26年８月12日（火）　休会

＊横浜鶴見北ロータリークラブ
平成26年８月14日（木）　休会

＊横浜鶴見西ロータリークラブ
平成26年８月13日（水）　休会

＊横浜港北ロータリークラブ
平成26年８月14日（木）　休会

次回《８月８日》の卓話予定
テーマ「世界の美港都市横浜をめざして」
㈱システムシーツー　一級建築士　近藤　裕之　様
（紹介者　天野　公史　会員）